

質問者 戸水議員	答弁者	村長	産業課
<p>道の駅の労働環境対策について</p> <p>道の駅「なかさつない」の来場者は新型コロナウイルス感染症の影響により減少していた時期もありますが、70万人を超える人気スポットであり、お客様のリピート率も高い実績を維持されていると思っています。</p> <p>これは指定管理者である観光協会、村が様々な集客アイデアを提案しイベント等を開催していることも要因であると考えており、取り組みに対して敬意を表するところであります。またそれぞれのテナントのご協力によるリピーターの数も計り知れないものであると推測するところでもあります。</p> <p>しかし、テナントの労働環境としては厨房はとても狭く、火を使うこともあり夏場の高温時には熱中症という危険と隣り合わせの状況にあります。近年何人かが体調を崩されたということも聞いております。一部のテナントではエアコンが設置されているようですが、ほとんどのテナントにはエアコンが設置されておらず、厨房や作業場の夏場の労働環境としては劣悪な状況にあり、問題であると考えているところであります。</p> <p>また、店内売り場では毎朝農家が納品した農産物も特に葉菜類は常温によって午後には品質低下を招いている状況です。</p> <p>これらの状況を踏まえて、現在の状況を働きやすい環境、農産物の高品質維持できるように改善すべきと考え、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>①村として状況を把握されているのかお伺いいたします。</p> <p>②村ではこの状況を改善するための対策を何か講じているのかお伺いいたします。</p> <p>③物産販売所 「花水山」、「開拓記念館」は村の施設であり、村がエアコンを設置すべきと考えますが、その考えがあるのかお伺いいたします。</p> <p>④各テナントが独自にエアコンを設置する際に、設置費用の助成をする考えがあるのかお伺いいたします。</p>			
<p>道の駅の夏場の労働環境対策に関するご質問のうち、1点目の状況把握と2点目の改善対策についてですが、道の駅の指定管理者である中札内村観光協会から昨年、熱中症等により体調を崩された方がいたとの報告を受けております。しかし、テナント事業者で構成するテナント会と村との定期的な協議の場において、熱中症等の夏場の暑さ対策への要望は寄せられておらず、議論の俎上には上っておりません。このため、村として具体策の検討はしていない現状となっております。</p>			

す。

3点目のエアコン設置に係る村の考え方についてですが、ご質問のとおり物産販売所「花水山」や「開拓記念館」は村の施設であり、建築基準法や消防法等の各種法令や基準に抵触する設備については、設置者として村が設備の設置、修繕を行う必要があると認識しております。一方、エアコンの設置など、そこで働く従業員等の労働環境の改善に係る措置については、一次的には事業者が行うべきものと考えており、これまでも事業者自らが取り組んでおられます。

4点目の事業者が独自にエアコンを設置する場合の助成についてですが、新たな顧客の確保やサービス向上を図る目的であれば、村の「にぎわいづくり起業者等支援事業補助金」の対象であり、ご活用いただけます。ただ、先に申し上げた村の考え方から、厨房や従業員が使用するスペースへのエアコン設置については補助の対象外であり、国の同趣旨の助成金制度も同様に補助対象外となっているところです。

近年は地球温暖化対策や省エネを含むゼロカーボン対策の視点で、空調設備等の導入に対して補助制度創設の動きが見られるところです。こうした環境対策にかかる取組みは、村内すべての商工業事業者に関わる課題でもあることから、今後、国や北海道等の動向に注視しつつ、商工会や道の駅テナント会と十分な意見交換等を行いながら、補助制度の必要性やあり方を研究してまいります。